



図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

TOPICS

1. 「秋の読書キャンペーン」「図書館でグリーンキャンペーン」を同時開催



2025年9月19日～11月7日の期間、「秋の読書キャンペーン」を実施しました。期間内に借りた本を読み「コメントカード」を記入して提出していただいた方に、学生ホールのカフェで利用できる「ドリンクチケット」を呈呈しました。参加者は14名、提出されたコメントカードは29枚でした。文芸書から実用書まで、幅広いジャンルの本が読まれており、寄せられた読後コメントの一部は「私が選んだ一冊」コーナー(p.2)で紹介しています。

また、静岡県グリーンバンクが実施する「暮らし」と「森林」のつながりを考える企画「図書館でグリーンキャンペーン」にも参加し、同時開催としました。秋の読書週間に本を借りた方へは、静岡県産木材の端材で作られた「割

箸」または「花の種のしおり」をプレゼントしました。

2. 文献検索のキホン講座（秋期）を実施

この講座は、学生に向けて、レポート作成や研究に必要な文献についての基礎知識、ならびにデータベースの基本的な使い方を身につけることを目的として春と秋の年2回開催しています。今回はオンラインでの参加が11名、対面参加が26名、合計37名の受講がありました。情報技術の進展により、変化する情報収集の注意点や生成AIの活用にもふれています。これからの学修や研究活動に役立ててもらえれば幸いです。毎年春と秋に開催していますので、興味のある方は、ぜひ受講してください。開講期間外も自習や復習に役立ててもらえるよう、iLearnにテキストと動画を掲載しています。

10/21～11/21の期間に、オンラインと対面による「文献検索のキホン講座」を実施しました。

3. LA-学生選書委員- 後期の活動紹介

- ❖ 大学祭参加：「しおり制作ワークショップ」を実施し、大人から子どもまで50名の参加者がありました。それぞれ思い思いのデザインでしおり作りを楽しんでいただきました。
- ❖ 冬のイベント企画に参加：クリスマスツリーの設置と飾り付け、さらに色紙を使ってクリスマス装飾も制作し、館内の季節感を演出しました。
- ❖ POP制作：おすすめしたい本のPOPを制作し、「LAおすすめ本」コーナーに展示しました。
- ❖ 読書会の開催：SFをテーマに参加者それぞれが好きな本を持ち寄り、本の紹介や感想を共有しながら楽しく語り合いました。



好きな本を持ち寄り、本の紹介や感想を共有しながら楽しく語り合いました。

▶ p.4にLA関連記事

4. 新着DVDのご紹介

新着DVDには、話題になった映画作品や、NHKで放送された教養番組など、幅広いジャンルがそろっています。ぜひ、この機会に新しい作品をお楽しみください。<全15点>

❖ 笑わない数学 ①～③

難解な数学の世界をわかりやすく解説

❖ ザ・バックヤード-知の迷宮の裏側探訪-①～⑤

博物館、美術館、図書館、動物園などの裏側を紹介

❖ ゴジラー1.0 劇場版鬼滅の刃 無限列車編

❖ ゴッホからの手紙 ラストマイル ほか

▶ AVコーナーで視聴できます



読書への羅針盤

富樫 敦 先生 (コンピュータシステム学科) に聞く

「未来を見据えて」



今回はコンピュータシステム学科に所属されている富樫敦先生にお話を伺いました。

富樫先生は データサイエンス・人工知能 (AI) を専門とされ、これまでに日用雑貨の需要予測 (ASAP 助成) や、射出成形品の不良予測など、産業分野に密接にかかわる研究に携わってこられました。今年度からは株価の予測にも挑戦されており、「社会のさまざまな現象をデータから読み解く」ことをテーマに研究を進めているそうです。AI を専門にするようになったきっかけは、前任校の宮城大学で AI を教えることになったこと。教育を通じて興味が深まり、現在の研究につながっているとのことでした。

富樫先生の少年時代についてもお聞きしました。先生は小学生から中学生のころまで外で元気に遊ぶタイプの少年で、牛乳配達のアルバイトもしていたそうです。その頃は主に伝記を好んで読み、エジソンやファールブルといった偉人の生涯から刺激を受けていたと話してくださいました。高校時代は受験勉強に専念して参考書ばかり読んでいたものの、大学に入ってから専門書や数学の本をよく読むようになったそうです。一般書はあまり読まなかったものの、森村誠一のビジネスサスペンスや小松左京の『日本沈没』、星新一の短編集といった作品には親しんでいたと振り返られました。

最近読んで面白かった本として挙げられたのは、世

界的ベストセラーである『金持ち父さん 貧乏父さん』です。富樫先生は未来を見据え、学生にも投資について関心を持ってほしいと考えているそうです。「皆さんが高齢者になる頃には、年金が今よりも頼りにならない可能性がある。だからこそ、自分の将来やお金の価値、使い方について若いうちから考えてほしい」と力強く語ってくださいました。この本は図書館に置いてありますので、興味のある方は是非手に取ってみてください。

また、静岡理工科大学の学生については「個人差はあるが、何かに積極的に取り組んでいる学生が多い」との印象を持っているとのこと。資格勉強や TOEIC、プログラミング、ソフトウェア開発など、それぞれの目標に向けて努力する姿をよく目にするそうです。

趣味や休日の過ごし方について何うと、スポーツジムで体を動かすこと、そして英語 (話すこと) が特技であると教えてくださいました。日曜日や休日でも大学でプログラミング教育などの用事をこなしていることが多く、普段とあまり変わらない生活を送っているそうです。研究や教育に向き合う姿勢が強く感じられました。

富樫先生、今回はお忙しい中お話を聞かせていただき、ありがとうございました。

【所在】「金持ち父さん 貧乏父さん」 図書/西 159 / Ki91

インタビュー・記事：コンピュータシステム学科 2 年 中野 航輔

私の選んだ一冊



『C 線上のアリア』 湊かなえ著

介護を題材とし、人の心の複雑さを考えさせられた作品でした。この作者のほかの作品と同様に、人間の心の弱さやすれ違いを丁寧に描く筆致が感じられました。自分の身には起きてほしくない内容でしたが、避けがたい現実と向き合う人々の姿が印象的な作品です。

(システム工学専攻2年 大石若葉)

2025 年「秋の読書キャンペーン」より
読後コメントの一部を紹介します



『はじめての哲学』 藤田正勝著

幸福とは何か、「よく生きる」とは何か、心とは何か、死とは何か、生きる意味とは何か。答えの出ないこうした疑問にぶつかった時、先人たちは何を考えてきたのか、易しい言葉で読める一冊です。

(物質生命科学科4年 深澤一花)



『闇祓』 辻村深月著

人間の怖さがジワジワと伝わってくるホラーでした。闇を押し付ける「闇ハラ」を行う人々に段々と乱されていく様子が、短編ごとに描かれていました。最後に答え合わせのように全てがつながり、怖さが増しました。

(物質生命科学科4年 望月理生)

推 薦 図 書

『マンアフターマン ～未来の人類学～』

ドゥーガル・ディクソン著；城田安幸訳．太田出版

生物系三大奇書という言葉があります。これは、1) 特異な性質をもつ一群の植物群に関する学術書である『平行植物』(工作舎) レオ・レオーニ著 (1980 年)、2) モグラの仲間から進化したと考えられている哺乳類に関する学術書である『鼻行類：新しく発見された哺乳類の構造と生活』(新思索社) ハラルト・シュテュンペケ著 (1987 年)、3) 5000 万年後の人類滅亡後の哺乳類や鳥類等について描かれた書物である『アフターマン：人類滅亡後の地球を支配する動物世界』(ダイヤモンド社) ドゥーガル・ディクソン著 (2004 年) を指します。これらが奇書である理由は、三冊とも学術書の体裁をとりながら架空の生物をイラスト付きで扱っており、特に『平行植物』と『鼻行類』は架空の参考文献も記載され本文中にフィクションであることが全く記載されていない点にあります。これらの書籍は生物学領域では類を見ない視点で記載されたフィクションですが、中でもスコットランド出身のサイエンスライターであるドゥーガル・ディクソンの『アフターマン』は未来の創造上の生物を描いている点に興味を持てます。我々が目にする地球上の生物は進化が終了しているわけではなく、現在も進化が進行していることをフィクションとは言えイラストを交えながら見せてくれる点がすばらしいと思います。彼は他にも、500 万年後～2 億年後の陸上、水圏を含めた生態系の遷移を科学的知見を織り交ぜながら創造的に描いている『フューチャー・イズ・ワイルド：驚異の

進化を遂げた2億年後の生命世界』(ダイヤモンド社) ドゥーガル・ディクソン、ジョン・アダムス著 (2004 年) を出版しています。

今回ご紹介する書籍は同じくドゥーガル・ディクソンによる、遺伝子操作された 500 万年後の人類をイラスト付きで描いた『マンアフターマン』です。SF 小説のジャンルに、科学性が強く本格的な SF 小説であるハード SF があります。私はハヤカワ文庫や創元推理文庫で出版されているハード SF 小説の翻訳本を好んで読みますが、ハード SF よりもさらに学術的知見の反映度が強い作品である『マンアフターマン』を初めて読んだ時は鳥肌ものでした。まさに、科学や SF 小説の神髄であるセンス・オブ・ワンダーが感じられます。

『マンアフターマン』では、200 年後から順に 500 万年後までの人類の変遷が系統樹付きで描かれています。作品中では今から 200 年後に宇宙植民者として人類の一部が地球を旅立ちます。地球を旅立った人類の子孫は地球外の新たな生活環境に適応できるように進化あるいは自己改変することになりますが、500 万年後に再び地球に帰還する場面が描かれています。地球を離れて 500 万年経過した人類の子孫は当初の人類とは全く姿かたちを変えており、地球で生活するためには特殊なスーツを着用する必要があると書かれています。

【所在】図書/西 480.4/D79

新着図書紹介

変な地図 雨穴著, 双葉社

データ分析を使ったレポート・論文ハンドブック
川本真哉, 齋藤隆志, 水落正明著, 中央経済社/
中央経済グループパブリッシング

なぜアートに魅了されるのか
渡辺茂, 大崎睦編, 共立出版

「風の谷」という希望 残すに値する未来をつくる
安宅和人著, 英治出版

うまい酒はどのようにできるのか (SB新書)
稲垣栄洋著, SBクリエイティブ

不夜脳 脳がほしがると本当の休息
東島威史, サンマーク出版

ラボ整理コミュニケーション術
研究者・技術者をボスにもつ人のための
正保美和子著, Booko出版/正保美和子

データサイエンスが拓く歴史学
歴史学研究会編, 大月書店

表情の科学
歴史と論争, 研究の最前線経験バイアス
ホセ・M・フェルナンデス・ロドリゲスほか編, 北大路書房

アルゴリズム・AIを疑う
誰がブラックボックスをつくるのか (集英社新書)
宇田川敦史著, 集英社

新着図書リスト



学生サポーターだより

図書館では、学生サポーターとして2つの学生団体が活動しています。「図書館コンシェルジュ」と「学生選書委員 L A」の最上級生に、それぞれの活動について聞きました。

Q1：コンシェルジュとして活動してみようと思ったわけは？

図書館での業務や、学生相談や講座の開催など教育に関する活動に興味があったからです

コンシェルジュ



システム工学専攻2年
大石若菜さん

Q4：後輩へメッセージをお願いします！

今期は講座の参加者数・学生相談者数が増加しただけでなく、知名度も上がってきた印象があります！これからもコンシェルジュの活動を盛り上げていきましょう！

Q2：どんなことにやりがいを感じましたか？

学生相談です。自分が今まで学んできたことが、他の学生の悩み解決に役立てることができてよかったと思います

Q3：印象に残っている活動は？

資格取得に関する講座の開催です。ポスターや配布資料作りなど、みんなに興味を持ってもらえるようなデザインを考えるのが楽しかったです

Q2：楽しかったこと、印象に残っていることは？

大学祭では来場者にブックカバーやしおりの作り方を教える、という体験が非日常的で印象に残っています。また、読書会を通して、普段読まないジャンルの本の話を聴くこともできるのも楽しかったです

Q4：後輩へメッセージをお願いします！

新鮮で有意義な活動でした。現LAもこれからLAに参加される方も、積極的に色々な活動をして、楽しさを増やしていきましょう！

Q1：LAに参加したきっかけは？

3年生の前期、何か活動したいなと考えていた時にチラシをもらったことがきっかけです。図書館の蔵書を選ぶことができる選書など面白そうだなと思いました

LA

物質生命科学科4年
平野幹喜さん



Q3：LAの活動のアピールをお願いします！

本が好きな人も、あまり本と触れ合っていない人も、選書や読書会などの活動を通して身近に感じてみませんか？



機械設計技術者や TOEIC などの講座や学習相談会も企画

書店で本を選ぶ
選書ツアーに参加



*コンシェルジュは学習支援、LA（学生選書委員）は読書推進を目的に、図書館の学生サポーターとして活動しています。

LIBRARY CALENDAR

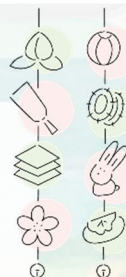
開館時間： 9:00～18:00

休館日： 〇

2月2日～3月31日までの開館時間 9:00～18:00

大学指定休日のため休館：3月9, 19日

※開館カレンダーは、状況により変更される場合があります。
最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。



2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31

【編集後記】衆議院選挙がおこなわれています。激変する世界、発信される膨大な情報の中で、自分が見ているものは信頼できる情報なのか？と不安になりますね。複数メディアの比較や出典の確認など、情報の真偽やバイアスに気をつけながら、自分の視点で考え、選択することの難しさと重要性を感じます。

静岡理科大学図書館報 No.84 2026年2月1日発行

編集・発行：静岡理科大学附属図書館 〒437-8555 袋井市豊沢2200-2 E-mail: tosyokan@sist.ac.jp

TEL: 0538-45-0231 FAX: 0538-45-0230 URL: <https://www.sist.ac.jp/lib/>